

福島小だより

学校通信

めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和2年11月2日 第9号



甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○実りの秋に ～どんな秋をお過ごしですか？～

朝夕の冷え込みに、秋の深まりを感じる季節になりました。

秋といえば、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋と、いろいろな楽しみ方がありますが、みなさんは、どんなふうに楽しんでいらっしゃいますか？

私のお勧めは「読書」です。秋は過ごしやすい気候で、ゆっくりと読書ができる季節です。今年も「読書週間」（10/27～11/9）が始まりました。学校では朝活動の時間に読書タイムがあり、全校一斉に読書に取り組んでいます。家庭でも、親子で一緒に読書はいかがですか？それぞれの本を読んだり、親御さんがお子さんに読み聞かせをしたりして、同じひとときを過ごすのはいいものです。

気持ちのいい秋の日のちょっとした時間に、読書を楽しめるといいですね。

○なかよし旬間 ～人権について深く考えた2週間～

「なかよし集会」では、人権担当の教員から、「人は誰でも人権が守られていて、『安心』と『自信』と『自由』をもって生きる権利がある」という話をわかりやすく子どもたちに伝えました。また、校長からは「本当の友だち」についての話をしました。

「なかよし読み聞かせ」では、縦割り班に分かれて、5年生による、思いやりや親切をテーマにした絵本の読み聞かせをしました。聞いていた子どもたちは、心に残ったことなどの感想を発表しました。

「なかよし話し合い」では、6年生が仲間外れや悪口を言う場面を想定した劇を発表しました。下級生がその劇に加わり、自分ならこんな時どうするか、自分の考えをセリフにしてみました。下級生は、仲間外れや悪口はよくないと注意したり、思いやりのある言葉を言ったりしていました。振り返りでは、友だちを大切にしたい、誰とでも仲良くしたいという意見が出ました。



○教育実習が終了 ～惜しみなく力を発揮した3週間～

2人の実習生は全教員の授業を参観し、しっかりと準備をして授業を行い、休み時間や清掃時には子どもたちに寄り添いながら活動していました。

最終週に行われた研究授業では、子どもたちが意欲的に発言するように工夫を凝らした授業ができました。

学校としても、とても貴重で有意義な3週間を過ごすことができました。

実習で学んだことを生かし残りの学生生活を充実させてほしいと思います。

